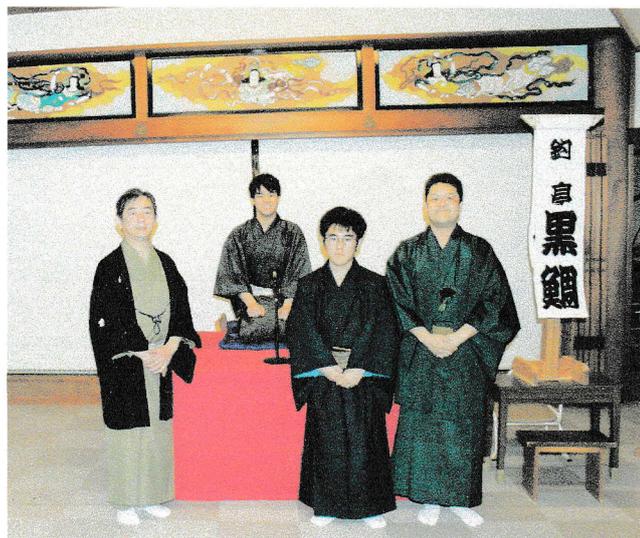


寺とも落語会



3月3日(日)午後2時～徳成寺で、寺とも落語会が開かれました。当初チラシでご案内したのは、演者3人でしたが「釣亭黒鯛」くんが、後輩の金仙くんや父親の幸ん喜さんだけに任せておけないということで、受験も終わってひと段落したこともあり急遽落語を披露してくれることになりました。2年前に演じた時より、一層ひきしまった立派な青年に成長し「茶の湯」を演じました。先輩の意地を見せてくれました。

先ずは、三木高校お笑い同好会の部長にしてただ一人の部員「望来亭金仙」^{もらいていきんせん}くんの登場です。黒鯛くんの跡を継ぐ後輩です。金仙くんには、お名前を誤って表記しお詫びして訂正致します。演じたのは、転失気=てんしき。知ったかぶりする和尚さんが、小僧さんに一本取られるおはなしですね。知ったかぶりの代表が、お坊さんなのもチクリときますね。



次に、黒鯛くんの父親の耕亭幸^{たがやしていこう き}ん喜さんの禁酒番屋を演じました。左の写真は、お酒を呑んでいる場面を演じる様子です。お酒は、百薬の長とも命を削るかんとも言われるそうです。少量適量を頂くのがいいのでしょうか、そこはなかなかうまくいかないのが人間です。そんな滑稽な酒呑みや酔っぱらいをテーマにした落語がたくさんありますが、禁酒番屋とっても笑えました。



トリを務める
酔亭藪太郎さん。
三木高校お笑い
同好会顧問でも

あります。演目は、桜の宮です。お花見をどうやって盛り上げるか一計を案じたものの、とんでもないことになっちゃうおはなしです。この度参加した最年少の小学生も「とっても面白かった」と落語の魅力を感じていたようでした。本堂が笑いに包まれなごやかな桃の節句になりました。

